

大河原地区

広域仙南圏

地区の取組

地域住民が、蔵王山麓等の自然環境と共生し、健康で快適な生活環境の確保、暮らしの安全・安心を確保するための生活基盤の整備を効率的・重点的に推進すると共に、白石・角田・柴田地区の都市機能の相互連携と仙台の都市機能を補完する地域づくりを推進します。



地域の課題

①生産基盤(富県戦略)

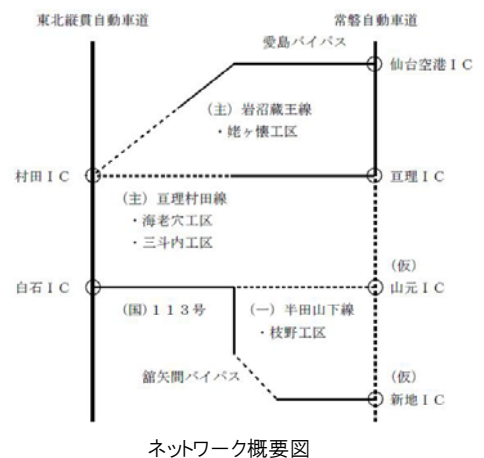
- ・広域仙南圏域と他圏域との交流連携を促進し、地域の産業、観光、経済を活性化するため、東北縦貫自動車道と常磐自動車道とアクセスする道路や仙台空港から山形県への最短ルート等、地域間を結ぶネットワークの整備が求められています。

②国土保全(安全安心)

- ・30年以内に99%の確率で、宮城県沖地震が発生することが予測されています。緊急輸送道路確保のため、橋梁耐震化を図る必要があります。
- ・近年、時間雨量強度が大きく、白石川支平家川(蔵王町、白石市)の下流域においては、浸水の常習地帯になっているため、早急な河川改修が求められています。また、土砂災害危険箇所が553箇所(H19.3末現在)の内、着手率が約14%と進まないため、ソフト対策との併用が求められています。

③生活基盤(暮らし・環境)

- ・県民アンケート調査において、当地区は「歩行者・自転車の安全を確保する歩道の整備」並びに「不便を解消する部分的な道路の改良」について、満足度が低く関心が高いという結果になっております。これはまさしく身近な道路整備を求められていることですが、事業の効率化が中心の現状においては、中々歩道整備並びに道路改良が進まないため、一部地域においては、部分的に歩道が整備されていないとか、道路幅員が狭い・カーブがきついとか、生活道路として必要最小限の安全・安心が求められています。



平成18年8月26日出水状況平家川



幅員狭小(一)越河角田線(丸森町大張)

課題解決に向けた取組

①生産基盤(広域幹線道路の整備)

- ・新潟市と相馬市を結ぶ、(国)113号館矢間バイパス(丸森町)の整備を促進します。
- ・常磐自動車道の供用に併せ、仙南地域の道路ネットワークを形成する(一)半田山下線枝野バイパス(角田市)の整備を促進します。
- ・仙台空港から山形方面へのアクセス道路等としての(主)亘理村田線海老穴工区(柴田町)・三斗内工区(村田町)の整備を促進します。
- ・仙台空港から山形県への最短ルートである(主)岩沼蔵王線姥ヶ懐工区(村田町)等の整備に着手します。



幹線道路整備(国)113号館矢間バイパス

②国土保全(耐震、治水、土砂災害対策)

- ・(国)286号釜房大橋(川崎町)等の橋梁の耐震化の促進、緊急輸送道路の確保に努めます。
- ・平家川(蔵王町・白石市)改修等による治水安全度の向上を図ります。
- ・土砂災害防止のハード対策を補完する目的で、ソフト対策として土砂災害警戒区域の指定拡大を推進します。
- ・(国)286号川添バイパス(川崎町)、(一)蔵王大河原線(大河原町)等の整備に着手し、安全・安心を確保します。



耐震補強(国)286号釜房大橋

③生活基盤(住民に身近な道路の整備)

- ・児童、生徒並びに地域住民が安全・安心に歩くことのできる歩道整備を促進します。
- ・地域からの要望はあるものの、優先順位の関係で中々整備に着手できない箇所を対象に、部分的な改良ではありますが、地域住民と市町と調整を図り、部分的に取り残された歩道整備等、必要最小限の生活道路としての安全・安心を確保することを積極的に推進します。
- ・道路、河川等の維持管理にあたっては、地域住民(スマイルサポーター含む)等と行政が連携した取り組みを図り、施設管理に努めます。



地域協働(一)越河角田線ワークショップ

■ 10年間の主な事業概要

No	箇所名	市町村名	地区名	事業内容	着手予定時期	完成予定時期	期待される整備効果
交通安全							
	(国)113号	丸森町	大内金山	自歩道設置	H15	期間内	自転車・歩行者の安全確保

	(国)113号	白石市	小原	自歩道設置	H15	期間内	自転車・歩行者の安全確保
	(一)基石富岡線	川崎町	支倉	歩道設置	H18	期間内	歩行者の安全確保
	(主)亙理大河原川崎線	角田市	君萱	歩道設置	H19	期間内	歩行者の安全確保
	(国)113号	七ヶ宿町	湯原	歩道設置	新規		歩行者の安全確保
	(国)113号	七ヶ宿町	関	歩道設置	新規		歩行者の安全確保
	(一)角田柴田線	角田市	神次郎	自歩道設置	新規		自転車・歩行者の安全確保
	(主)白石上山線	蔵王町	宮	歩道設置	新規		歩行者の安全確保
災害防除							
	(国)113号	七ヶ宿町	中山	落石防護柵工	H18	期間内	落石防止と通行の安全確保
	(主)丸森霊山線	丸森町	字筆甫	落石・崩壊	H17		落石・崩壊防止と通行の安全確保
	(主)白石柴田線	白石市	白川内親	法面工	H18		落石・崩壊防止と通行の安全確保
道路建設							
	(国)113号	丸森町	館矢間	バイパス	H8	期間内	広域ネットワークの形成
	(主)亙理村田線	柴田町	海老穴	現道拡幅	H7	期間内	広域ネットワークの形成
	(主)亙理村田線	村田町	三斗内	バイパス	H11	期間内	広域ネットワークの形成
	(一)半田山下線	角田市	枝野	バイパス	H12	期間内	広域ネットワークの形成
	(主)岩沼蔵王線	村田町	姥ヶ懐	現道拡幅	新規		広域ネットワークの形成
	(一)蔵王大河原線	大河原町	小山田	バイパス	新規		安全安心の確保
	(国)286号	川崎町	川添	バイパス	新規		安全安心の確保
	(一)川前白石線	白石市	大鷹沢	現道拡幅	新規		生活環境の向上
過疎代行(道路)							
	(町)羽出庭線	丸森町	川田島	過疎代行	H13	期間内	生活環境の向上
	(町)銅谷線	丸森町	大張	過疎代行	新規		生活環境の向上
河川							
	内川(五福谷川含む)	丸森町	内川(上流)	総流防(広域一般)	H4		治水安全度の向上
	荒川	村田町	荒川	広域基幹河川改修	S48		治水安全度の向上
	平家川	蔵王町	平家川		S59		治水安全度の向上
	小田川	角田市	小田川		S50		治水安全度の向上
砂防							
	松川下流	蔵王町		流路工	H10		土砂災害防止と流路の安定
	横川	七ヶ宿町		ダム工	H6		土砂災害防止と流路の確保
地すべり							
	平	村田町		集水井、集水Br	S61		人家、耕作地、公共施設の保全
	追久保	白石市	小原	押え盛土工	新規		河川、道路の保全
急傾斜							
	新館の1	白石市	新館	法枠工	新規		人家、公共施設の保全
	遠刈田温泉の2	蔵王町		法面工	新規		人家、公共施設の保全
街路							
	小池石生線	村田町			新規		健全な市街地の形成
	末広線	大河原町			新規		健全な市街地の形成
流域下水							
	阿武隈川下流流域	白石市、他			S49		生活環境の改善
橋梁耐震対策							
	(国)286号	川崎町	小野	釜房大橋	H18	期間内	緊急輸送道路の確保
	(一)船岡停車場船迫線	柴田町	船岡	柴田大橋	新規		緊急輸送道路の確保

これまでの大河原土木事務所の取り組み

真に豊かな仙南地域の創造と県土の保全を図るため、施設の管理並びに社会資本の整備についても継続して行い、水と緑の自然環境と調和し、安心して快適に生活できる圏域づくりに取り組んできました。

＜交流連携を促進するためのネットワークの構築＞

- ・(国)113号苗振バイパス・郡山バイパス(白石市)等の供用開始をしました。
- ・(国)113号館矢間バイパス(丸森町)、(主)亙理村田線海老穴工区(柴田町)・三斗内工区(村田町)、(一)半田山下線枝野バイパス(角田市)等の整備促進しました。

＜地域の特性を生かし、豊かな暮らしを実現するための地域づくり＞

- ・地域の自立性を高めるため、アドプトシステムの拡大を積極的に推進しております。平成19年11月1日現在、スマイルロード33団体、スマイルリバー13団体となっており、年1回意見交換会や現場講習会等を開催し連携強化を図っております。
- ・白石川(柴田町・大河原町・蔵王町・白石市・七ヶ宿町)に関係し、地域と連携した環境整備活動に参加しております。

＜自然と共生し、暮らしの安全・安心を確保するための社会本整備＞

- ・白石川築堤工(大河原町)、秋山沢川砂防流路工(蔵王町)、平災関地すべり対策工(村田町)等の防災対策を実施しました。
- ・児童・生徒の通学時の安全を確保するため、東根歩道橋(角田市)等の歩道を整備しました。
- ・(街)大沼通線さくら船岡大橋(柴田町)等の供用による交通渋滞の緩和を図りました。